

令和5年6月7日

戦国時代の塩の歴史に関する連載が始まりました

行政政策学類の阿部浩一教授（日本中世史）が、塩事業センター（旧日本専売公社）のホームページ上で、「塩の senjutsu」と題して、各地の戦国大名と塩の関わりについての執筆を開始しました。

戦乱の相次いだ戦国時代に、各地の戦国武将たちはいかにして塩を確保し、活用していたのか、塩にまつわる“senjutsu”（戦術）について連載します。

今後、東北地方、福島県の話についても取り上げる予定ですので、ぜひご覧ください。

塩事業センター（旧日本専売公社）の「塩と暮らしを結ぶ運動」では、ホームページ上で多様な広報活動を展開しています。その一つである「くらしお古今東西」のコーナーでは、日本各地の塩の文化・歴史や、塩と暮らしに関する話を紹介しています。これまでもさまざまな専門分野の研究者が、塩づくりの歴史や習俗、塩にまつわる人物などについて紹介してきました。

今年度は、行政政策学類の阿部浩一教授（日本中世史）が、「塩の senjutsu」と題して、戦乱の相次いだ戦国時代に、各地の戦国武将たちはいかにして塩を確保し、活用していたのか、塩にまつわる“senjutsu”（戦術）について連載します。隔月で計6回を予定しています。

第1回は「戦国大名の senjutsu（戦術）と塩の関わり」と題し、近江国（現在の滋賀県）のエピソードの紹介からスタートしました。今後は東海・関東へと話の舞台を広げ、東北地方、福島県に関する話も取り上げる予定です。よろしければぜひご覧ください。

くらしお古今東西ホームページ

<https://www.shiotokurashi.com/kokontozai>

（お問い合わせ先）

行政政策学類・教授 阿部浩一

電話：024-548-8318

メール：abe@ads.fukushima-u.ac.jp